

令和5年度第1回豊川市住宅マスタープラン策定委員会 議事概要

開催日時 令和5年8月4日（金）
午後2時00分～午後3時40分

開催場所 豊川市役所 本34会議室（本庁舎3階）

1 開会

- (1) 本委員会について
- (2) 資料確認
- (3) 建設部長挨拶

2 委員紹介

- (1) 各委員自己紹介
- (2) 事務局挨拶

3 議題

- (1) 委員長及び副委員長の選任について
 - ・委員長 浅野 純一郎（豊橋技術科学大学教授）
 - ・副委員長 葛谷 潔昭（豊橋創造大学准教授）
- (2) 現計画の進捗状況及び事前アンケートの調査結果について

議題(2)についての質疑応答、発言

(委員)

先日の線状降水帯の被害状況について、ハザードマップと被害実態を市で合わせて示してもらえればよいと思う。

土砂災害等の被害にあった人が、どこに避難すればよいか市民の方が判断できる資料が見つけやすい場所にあるとよい。

福祉車両の乗り降りの際に交通渋滞が起こっているのを目にする。空き家とか空き地があれば車を止められるとよいと個人的に考えている。

(事務局回答)

提案について関係部局と情報共有させていただきます。

(委員)

安全・安心に関連すると、高層マンションから子供が転落するという事故がある。作業中の事故も多い。事故を減らすことが、住民の安全・安心を確保することになると思う。

(事務局回答)

安全対策については、注意喚起が必要だと考えております。

(委員)

近くに子供が自分で行ける公園があるとよい。

(事務局回答)

担当部局と情報共有させていただきます。

(委員)

現在、建物の価格が高くなりすぎて一般の人がこれから住宅を購入することが困難になってきている。

(事務局回答)

空き家の活用なども課題として考えてまいります。

(3) 豊川市住宅マスタープラン（骨子案）について

議題(3)についての質疑応答、発言

(委員)

課題8について、「単身高齢者など」の中に単身障害者等も含まれていると思うが、高齢者中心の記載になっているので、障害者も含まれていることも配慮してもらえると分かりやすい。

(事務局)

参考にさせていただきます。

(委員)

障害者の話が出たが、介護においては外国人留学生が多い。豊川市の案内は英語中国語になっているが、それ以外の言語の人もいる。そのことを配慮したほうが良い。

(事務局)

検討させていただきます。

(委員)

・課題1の南海トラフの件について、今までは住宅耐震化は個人も守るという趣旨だった。住宅の8割が耐震化している状況であるのならば、プラスアルファの施策を検討する必要がある。市ができることとして、ブロック塀の耐震化、電線地中化等を進める必要があると思う。

・課題1などには水害の話がほとんどないので入れたほうが良い。立地適正化計画において防災指針はこれから作成すると思うので施策は進んでいくと思うが、対地震と対水害はかなり違うので整理した方が良い。

(事務局)

地震・水害の話については、対応させていただきたいと思います。電線の地中化・無電柱化は、計画に基づいて事業化を図ってまいります。

(委員)

- ・課題5の少子高齢化への対応について、「在宅医療・介護」に関する施策とあるが、地域包括ケアシステムという言葉を入れたほうが良い。
- ・ZEHについて、高断熱化を進めるなどの補助事業はあるのか。新築に補助を出すのではなく、古い家に住んでいる人が望んだ時に補助を出すように考えた方が良いと思う。

(事務局)

参考にさせていただきます。

(委員)

- ・若者の住まい施策が抜けていると思う。西三河で家が足りないのでこちらに流れってきているという話もあるなかで、もう少しプッシュ型の施策を考えてもよいと思う。
- ・阪神淡路大震災の時、助かった人達は、家具の固定や家具を置かない寝室（所謂住宅内シェルター）が最後の切り札となった。そのため、家具固定の推進も住宅マスタープランの施策として入れていけばよいと思う。
- ・国道23号が整備されて交通の利便性が変わると思う。これで車の流れがスムーズになると思うが、人口の流れも変わる。国道23号に対して地域がどのように向かっていくか考える必要がある。

(事務局)

参考にさせていただきます。

(委員)

公営住宅への入居について、保証人がつかないので借りるのが難しいというケースが単身高齢者や障がい者に多い。今後、単身高齢者や障がい者が増える中で改善は可能になっていくのか。

(事務局)

国では、公営住宅の保証人は撤廃という方向でございます。

(委員)

- ・豊橋、蒲郡に在住している子供は生活圏が一緒のため集まりやすいが、豊川は生活圏が異なるため、集まりにくいという感じがする。
- ・理想としては、東三河全体が活性化していくことが重要。

4 意見交換・その他

(事務局)

第2回委員会を11月の下旬までに実施する予定でございます。本日の委員会について、意見等があれば気軽に事務局へ連絡するようお願いいたします。

以上